

南アフリカがベトナムとの農産物貿易を推進

[FreshPlaza 2025年9月3日](#)

南アフリカは、貿易相手を多様化しながら、より回復力のある農業部門の構築に取り組んでいる。

同国のナレンド・シン林業・水産・環境副大臣は火曜日、「我々は広大な新市場を開拓し、柑橘類などの製品の重要なプロトコルを確保するという点で進展を遂げてきた。自信を持って輸出先を拡大し、我が国の農業生産者に新たな機会を創出している」と述べた。

プレトリア市(南アフリカ)で開催されたベトナム社会主義共和国独立80周年記念式典において、同副大臣は南アフリカが大統領府の統率の元で貿易の相手先を多様化していると指摘した。南アフリカ政府はアジア及び中東全域で新しい市場を追求している。

同副大臣は、「こうした施策は、新たなチャンスへの扉を開くだけでなく、既に保有している重要な市場を維持するという我が国の取組みを強化するものである。現在の世界の経済環境は課題を抱えている一方で、アフリカ大陸自由貿易地域(AfCFTA)の構築と実施の加速、それに東南アジア諸国連合(ASEAN)など未開拓の市場における新たなパートナーシップの発展の機会も提供している」と説明した。

同副大臣はまた、ベトナムと南アフリカが国民の利益を確保するために、合弁事業、知識の交換、政策の調整等を通じて協力を強化する道を模索することが重要であるとして、次のように述べた。

「国際社会は、世界の安定と繁栄を脅かす一連の困難な課題に直面している。それは、地政学的緊張、経済的不平等と貿易の不確実性、社会不安、人権への懸念等である。我が国政府は、両国が今後も関係を深め、互いの経験から学び、知識を共有し、新たな協力機会の模索に努めていくことを望んでいる。パートナーシップを強化し、両国のみならず、両国が位置する両地域全体においても平和、繁栄、発展を促進するために協力することを願っている。」

出典: SA News

ブラジル 2024/25年度のオレンジ収穫量は30年ぶりの低水準

[FreshPlaza 2025年9月3日](#)

柑橘類栽培保護財団(Fundecitrus)が2025年4月に発表したデータによると、サンパウロ州とミナスジェライス州の柑橘類地帯からの2024/25年度のオレンジ出荷量は、2億3,090万箱(40.8kg/箱(以下同じ))で終了した。これはこの30年以上において最も少なく、長期の干ばつと悪天候による5カ年連続の低収量を反映している。この数量は、2023/24年度の3億720万箱を21.8%下回っている。(原文にグラフがあります。以下同じ)

オレンジの加工 外部監査法人が集計したCitrusBR(柑橘類輸出業者協会)会員のデータによると、2024/25年度には1億9,480万箱の原料が搾汁された。このうち、1億7,100万箱が同団体の会員企業によって処理され、2,370万箱が非会員によって処理された(自社及び第三者の園地の果実の合計)。これは、2023/24年度の処理量である2億6,790万箱と比較して27.3%の減少であった。

歩留り 2024/25年度の産業的歩留り(ブリックス値66の冷凍濃縮オレンジ果汁(FCOJ)1トンを製造するのに必要な原料果実の数量)は、CitrusBR会員企業で275.7箱、非会員では286.7箱と推定された。加重平均は276.9箱であった。これは、2023/24年度に報告された298.2箱と比較して7.1%の改善であった。

オレンジ果汁製造量 2024/25年度のオレンジ果汁総製造量は、70万3,200トン(ブリックス値66のFCOJ換算)と推定された。これは、2023/24年度に製造された89万8,700トンを21.8%下回っている。

果汁在庫量 外部監査法人によって集計されたCitrusBR会員企業の独立監査結果によると、会員が保有するブラジル産オレンジ果汁の世界在庫量は、2025年6月30日時点で14万6,300トン(ブリックス値66換算)であった。これは、2024年6月30日時点の11万6,700トンと比較して25.4%多い。この増加にもかかわらず、在庫量は過去の記録の中で最も低い水準にとどまっており、世界的な供給制約の状況を裏付けている。